

まちづくりだより



編集発行

2013年(平成25年)1月
東京都再開発事務所
東京都中野区中野1-2-5
TEL (03)5389-5169

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
皆様方にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より環状2号線の事業推進にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
本年は、平成26年度のお引渡しに向け、建築工事を進めている虎ノ門街区の施設建築物が上棟を迎えます。地上部道路におきましても、建設局施行による地下トンネル工事が完了したところから順次、整備を進めてまいります。
沿道の皆様におかれましては、工事に伴う騒音や振動、交通規制等によりご迷惑・ご不便をおかけしておりますが、職員一同、事業の早期完了を目指し、全力を挙げて取り組んでまいります。
本年もどうぞよろしく申し上げます。



平成二十五年一月
東京都再開発事務所長 越地壽宜

あけましておめでとうございます。
私ごとになりますが、新橋から虎ノ門を見るたびに大きくなっていくⅢ街区を見ると、感慨深いものがあります。
本年は、最後の再開発ビルであるⅢ街区が上棟を迎え、また、地上部道路の工事が本格化してまいります。
今後も、東京都に対しては、事業の着実かつ早期に完成するよう、また、沿道を含めたまちづくりに関しても、再開発協議会の活動を通して働きかけたいと思います。
権利者及び沿道の皆様方には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成二十五年一月
再開発協議会長 青木雅文

貨幣にまつわる話

愛宕下遺跡では、貨幣(銭貨)も比較的多い出土遺物です。そのほとんどは、銅銭で、極めて少量ですが金貨・銀貨も見られます。徳川幕府成立以前の流通銭貨は、渡来銭(明銭など)・鑿ビタ銭(模鑄銭・私鑄銭など)が主体でした。幕府は、流通貨幣の統一を目指し、慶長六年(1601)金銀貨の発行、同十一年(1606)慶長通寶の鑄造、同十三年(1608)永楽通寶の流通停止、さらに寛永十三年(1636)寛永通寶の発行(古寛永通宝と呼称される)および鑿銭の回収を経て、おおよその貨幣制度が確立されます。また、貨幣鑄造所である「座」(金座・銀座・銭座)を設け鑄造を行います。金銭貨は計数貨幣と呼ばれ、金貨の換算は金1両=金4分=金16朱、銭貨は銭1000文=1貫文となります。また銀貨は、一分銀・二朱銀などの計数貨幣も発行されますが、目方の単位(匁・分など)で交換されます(秤量^{シヨウリョウ}貨幣と呼びます)。愛宕下遺跡から出土した貨幣は、1,881点(以上)です。金貨は二分金2枚があり、残りは銅銭です。



金延板 No.149-6地点出土(虎ノ門地区) 表面に「小割 武匁一分五リン」の刻文字があります。重量は8.07gで、ほぼ記載のとおりです。この金延板は、貨幣ではないと考えています。

「慶長通寶」と「元和通寶」

左:「慶長通寶」No.149-6地点出土(虎ノ門地区)
右:「元和通寶」元和三年(1617)鑄造 No.149-9地点出土(愛宕下地区)
いずれも遺跡最下層の自然層(黒色粘土層)付近から出土しています。



銭縶 サン No.149-40-2地点出土(愛宕下地区)
寛永通寶、穴あき銭に通しまとめる紐を縶(さし)と呼びます。
一縶=100文(銭100枚)を基本単位として使用しました。

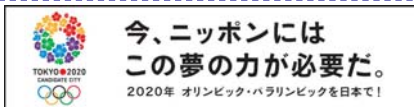
渡来銭 No.149-33-2地点出土(芝口地区)

上段:左「寛永通寶」中「祥符元寶」(北宋 1008) 右「元祐通寶」(北宋 1086)
下段:左「元豐通寶」(北宋 1078) 中「天聖元寶」(北宋 1023) 右「開元通寶」(唐 621)
これらは、往還に沿う排水用の石組溝最下段石垣裏込め(屋敷側)より出土しました。石垣の造作された年代を考えるうえで重要な遺物です。



各種お問い合わせ先

用地管理、地上部道路工事などについて	環二地区事務所	03-3591-8810
事業の計画、再開発協議会・部会について	事業課 環二地区担当係	03-5389-5169
管理処分計画について	事業課 管理処分係	03-5389-5166
測量の立会、事業の計画線について	事業課 測量係	03-5389-5170
用地や建物の買収・補償、建物調査について	管理課 補償調整係	03-5389-8229
施設建築物について	工事課 建築係	03-5389-5172
地上部道路計画について	工事課 設計係	03-5389-8225
地下トンネル工事について	環状第2号線(地下トンネル部)広報センター	03-3438-4348
	建設局 東京都第一建設事務所 環二工事事務所	03-3578-0217
	建設局 東京都第一建設事務所 環二工事課	03-3542-0705



環状第2号線地上部道路工事について

平成24年10月15,16,17日に、環状第2号線地上部道路の本格着工に伴い、地元の皆様に向けた工事説明会を開催しました。3日間で延べ約120名と多くの方にご出席頂きました。

当日は、東京都及び工事受注者より、地上部道路の整備工事について説明いたしました。

工事に伴い、沿道の皆様におかれましては、ご迷惑をおかけすることとなりますが、今後とも、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いたします。



説明会の様子

【工事概要】

工事件名：街路築造工事及び電線共同溝設置工事

工事場所：①東京都港区西新橋二丁目地内から同区新橋四丁目地内

②東京都港区虎ノ門二丁目地内から同区虎ノ門一丁目地内

工事内容：下水道管布設工事・電線共同溝設置工事・街路整備等

工事受注者：①日道・フジタ・勲栄建設共同企業体

②前田・日工・住吉建設共同企業体

担当 環二地区事務所 03-3591-8810

頂いた質問例とその回答

Q 工事の作業時間について教えてください。

A 原則8時から18時を予定しており、月～土に施工します。また、場所によって夜間施工となる場合があります。

Q 工事中の交通規制についてはどうか。

A 一時通行止めになる箇所もありますが、歩行者通路は確保します。交通量が多く、通行止めが難しい場合は、歩行者と自動車の両方が通れるように考えています。

Q 騒音対策についてはどうか。

A 使用する重機について、最新の低騒音のものを用い対処するなど、最大限工夫します。

Q 今回の工事では26年度末に歩道が仮舗装となっているが、仕上げについてどうなっているのか。

A 今回発注工事から引き続き、来年度早々に街路灯設置工事等を発注します。街路灯の設置、植栽、歩道等の整備になりますが、電線共同溝工事やライフライン工事等のため、部分的に掘り返さないといけない箇所があります。その関係で、今回発注工事では、歩道を仮舗装とさせていただきます。

Ⅲ街区（虎ノ門街区）の進捗状況について

Ⅲ街区(虎ノ門街区)の施設建築物については、平成24年12月時点で、高層部は地上52階の鉄骨建方を行っており、平成24年度末には上棟を迎える予定です。建物内部では、下部より順次内装の工事が行われています。



平成24年12月 Ⅲ街区立体道路の工事状況



平成24年12月 Ⅲ街区東側より撮影

地上部道路の植栽計画(案)について

環状第2号線の地上部道路のデザインについて、学識経験者を交えた「環状第二号線(新橋～虎ノ門)地上部道路景観検討委員会」を設置し、検討してきました。今後は、委員会のとりまとめの内容を踏まえ、関係機関との協議等を行い、詳細設計を確定します。

植栽計画(案)

デザインコンセプト

- 高木で構成された街路樹
- 豊かな緑量と緑陰の形成
- 東京を代表するシンボリックな街路景観の創出

デザインの考え方

- 来訪者に日本の四季を感じさせるように樹種を変化させ、魅力的な空間作りを行う。
- 交差点部には、ゾーンをつなぐ樹木配置を行う。



※デザインはイメージであり、今後関係機関との協議の中で変更になる場合があります。

担当 工事課 設計係 03-5389-8225